

第5次吉田町総合計画後期基本計画
進捗管理報告書



令和4年8月25日

吉田町

○ この報告書について

当町では、平成28年度から、将来都市像“人が集い 未来へはばたく魅力あふれるまち 吉田町”とした第5次吉田町総合計画をスタートさせました。

現在、第5次吉田町総合計画後期基本計画が始まって3年が経過しました。この計画の着実な推進を図るため、第5次吉田町総合計画後期基本計画に掲げた主要施策の定期的な進捗管理を行っていくことが将来都市像の達成及び後期基本計画の推進のために必要であることから、この報告書を作成します。

1 将来都市像

人が集い 未来へはばたく魅力あふれるまち 吉田町

2 評価の方法

(1) 内部評価（吉田町ステップアップシートの活用）

吉田町まちづくりステップアップシートに記載された第5次吉田町総合計画後期基本計画作成時に設定した、7つの施策の大綱ごとに掲げられている分野の主な目標について、目標値に対する令和3年度の実績による現状の達成状況を確認します。

(2) 外部評価（吉田町総合計画等審議会）

定量的評価に基づいて、検証を行います。

- ① 各施策の具体的な目標について「目指す方向に向かっているか」「向かっているまたは向かっていないと思う理由」など、方向性に対する意見をいただく。
- ② 将来都市像の実現に向けて、「どのような取組を進めるべきか」など、今後の計画を推進するための意見をいただく。

3 第5次吉田町総合計画後期基本計画施策体系（令和2年度～令和5年度）

将来都市像 人が集い 未来へはばたく魅力あふれるまち 吉田町	基本理念1 安全で安心して住み続けることのできるまちづくり	第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり ・津波災害対策を推進する ・地域防災力を高める ・安全・安心に暮らせる環境を創出する	分野 地震・防災対策 治山治水対策 交通安全対策 暮らし安全 消防・救急	第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり ・適正かつ効率的な行財政運営を推進する ・住民参画を推進する ・住民本位の行政を推進する ・誰もが輝ける社会を実現する
	基本理念2 賑わいが生まれ、活力が 賑わいが生まれるまちづくり	第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり ・誰もが健やかに暮らせる環境を創出する ・安心して出産・子育てができる環境を創出する ・誰もがいきいきと暮らせる環境を創出する	分野 健康づくり 地域医療 地域福祉 社会保障 子育て支援 高齢者福祉 障害者福祉	
	基本理念3 豊かな心を育み、愛する郷土を 守り、次代につなげるまちづくり	第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり ・地域に根づく産業を育成・支援する ・経済の活力を高める新たな産業を創出する ・魅力ある雇用・就業環境を創出する	分野 農業 水産業 商工業 観光 新産業 企業誘致 雇用・就業対策	
		第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり ・良好な住環境を保全・創出する ・安全で利便性の高い交通環境を創出する ・新たな賑わいが創出される交流を促進する	分野 土地利用 住環境 公園・緑地・水辺 道路網 生活交通 コミュニティ 多文化共生 賑わいづくり	
		第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり ・次代を担い、社会を生き抜く力を持つ人づくりを進める ・地域の歴史・文化を継承し、心豊かな人を育む活動を推進する ・心身の健康を保ち、向上心を育む活動を推進する	分野 幼児教育 学校教育 地域教育 青少年健全育成 芸術文化・文化財 生涯学習 スポーツ・レクリエーション	
		第6章 豊かな自然と共生するまちづくり ・豊かな自然環境を保全する ・水資源を活用する ・地球にやさしい循環型社会を実現する	分野 上水道 下水道・浄化槽・し尿処理 環境衛生 ごみ減量・リサイクル 地球温暖化防止対策	
			分野 行財政 高度情報化 情報公開 広報・広聴 住民参画 男女共同参画・人権尊重 ユニバーサルデザイン	

4 分野の主な目標に対する評価について

(1) 評価の凡例

- A・・・令和3年度実績値が目標値を達成しているもの
- B・・・令和3年度実績値が現状値（基準値）より改善しているもの
- C・・・令和3年度実績値が現状値（基準値）より改善していないもの
- －・・・令和3年度実績値が確定していないもの

(2) 分野の主な目標達成状況一覧

「※」は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業

実施計画の主な目標	A	B	C	－
【第1章】災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	4	3	6	0
シーガーデン（海浜回廊）の盛土整備率		○		
防災行政無線（移動系）デジタル化の整備率	○			
よしだ防災メール登録件数（累計）		○		
吉田町地域防災指導員養成講座及びジュニア防災士養成講座受講者数（累計）	○			
大幡川・大窪川・第2大窪川の改修率		○		
住吉地区浸水対策計画の策定率			○	
交通人身事故発生件数	○			
青色防犯パトロール実施団体数			○	
刑法犯認知件数	○			
消防団協力事業所表示制度登録事業所数			○	
女性消防団員数			○	
救急車両の平均現場到着時間			○	
火災車両の平均現場到着時間			○	
【第2章】誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	7	4	5	0
高血圧有病者の割合（40～74歳）		○		
妊娠や出産に関する講座実施回数			○※	
7か月児健康相談実施率	○			
内科診療所数	○			
社会福祉協議会におけるボランティア人材登録者数			○※	
小中学生が福祉ボランティア活動に参加した人数			○※	
地域福祉推進委員会の開催	○			

実施計画の主な目標	A	B	C	—
国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率			○✖	
保育所の待機児童数	○			
放課後児童クラブの待機児童数	○			
ファミリーサポートセンター会員数		○		
子育て支援センター利用者数			○✖	
生涯現役人材バンク登録者数		○		
高齢者見守りネットワーク協力事業所数		○		
高齢者向けワンコインサービス利用者数（累計）	○			
障害福祉サービス及び地域生活支援事業利用者数	○			
【第3章】活力あふれる産業振興のまちづくり	3	3	9	2
認定農業者及び認定新規就農者数			○	
荒廃農地面積			○	
認定農業者等への農地集積率	○			
水産振興拠点の整備			○	
漁業就業相談件数			○	
多目的広場の整備		○		
製造品出荷額				○
商品販売額				○
新商品開発支援件数（累計）			○	
観光交流客数			○✖	
創業者数（累計）		○		
大学等と連携した新商品等の開発（累計）			○✖	
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組に係る企業活動維持支援事業地内への企業誘致件数（累計）	○			
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組に係る物資供給拠点確保事業地内への商業施設誘致件数（累計）			○	
インターンシップ参加者受入企業の開拓（累計）		○		
インターンシップ参加者数（累計）	○			
榛南地区勤労者共済会の会員数			○	
【第4章】魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり	5	3	9	0
ふじのくにフロンティア推進エリアの認定数	○			
空き家バンク制度の利用登録件数（累計）			○	

実施計画の主な目標	A	B	C	—
町営住宅大規模修繕棟数（累計）			○	
土地区画整理事業において築造する道路の整備率			○	
緑化イベント参加者数			○	
舗装修繕実施率	○			
橋梁点検（近接目視）実施率		○		
町内を運行するバス路線数	○			
町内バス停の乗降者数			○	
自治会への加入率			○	
コミュニティカレッジ受講者数（累計）		○※		
住民と外国人が交流を図るイベント等の参加者数			○※	
多言語による情報発信回数	○			
外国語版情報誌の配布枚数			○	
無料 Wi-Fi スポットの設置数（累計）		○		
案内看板（多言語化）の設置数（累計）			○	
ホームページアクセス件数	○			
【第5章】次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	2	2	10	0
幼児教育カリキュラムに基づく幼児教育の実施率	○			
全国学力・学習状況調査の県平均正答率との差			○	
各小中学校における学習者用コンピューター1台当たりの児童・生徒数	○			
朝食を毎日食べる児童・生徒の割合		○		
地域教育推進事業への参加者数			○	
チャレンジ教室の教室数			○※	
笑顔いっぱい運動スタッフベスト配布枚数（累計）		○		
芸能祭出演者数			○※	
文化展出展者数			○※	
芸能祭、文化展等入場者数			○※	
生涯学習教室参加人数			○	
シニアカレッジ・寿大学受講者数			○※	
図書館来館者数			○※	
各種大会、スポーツ教室等への参加人数			○※	

実施計画の主な目標	A	B	C	—
【第6章】豊かな自然と共生するまちづくり	2	6	0	3
基幹管路の耐震化延長	○			
有収率		○		
下水道処理人口普及率		○		
浄化槽処理人口普及率	○			
飼い主のいない猫不妊去勢手術実施件数（累計）		○		
環境学習参加者数（累計）		○		
1人1日当たりの可燃ごみの排出量				○
ごみのリサイクル率				○
吉田町住宅用新エネルギー機器等設置事業費補助件数（累計）（太陽光発電システム）		○		
吉田町住宅用新エネルギー機器等設置事業費補助件数（累計）（蓄電池システム）		○		
公共施設における温室効果ガス年間排出量				○
【第7章】行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	8	1	4	1
吉田町まちづくりステップアップ行政評価による点検実施率	○			
実質公債費比率	○			
行政手続きなどに係るオンライン利用件数	○			
電子申請サービス数			○	
情報セキュリティ問題発生件数	○			
個人情報の流出・紛失事故件数	○			
情報セキュリティに関する研修を受けた人数（累計）	○			
ホームページアクセス件数	○			
町政報告会参加者数				○※
NPO法人の数			○	
NPO法人の会員数			○	
静岡県「男女共同参画社会づくり」宣言事業所・団体数			○	
人権啓発講演会参加者数（累計）		○		
公共施設におけるユニバーサルデザイン化実施箇所数（累計）	○			
全体	31	22	43	6
（内、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業）	（0）	（1）	（15）	（1）

5 基本目標ごとの具体的な取組

◆ 基本理念 1

安全で安心して住み続けることのできるまちづくり

◆ 第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

【分野(1) 地震・防災対策】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
シーガーデン（海浜回廊）の盛土整備率 ※総延長約5kmの海岸線において、L2の大津波を越波させない防潮堤の整備率	30% (平成30年度)	60%	50%	B	○	・川尻防潮堤の完成及び吉田漁港多目的広場天端の嵩上げにより、L2津波への対応が図れた。	防災課
防災行政無線（移動系）デジタル化の整備率	0% (令和元年度)	100%	100%	A		・防災行政無線（移動系）デジタル化整備工事を実施し、アナログ方式からデジタル方式への移行ができた。	防災課
よしだ防災メール登録件数（累計）	1,637件 (平成30年度)	4,000件	2,092件	B		・よしだ防災メール及び吉田町公式LINEの登録の促進を行った。 【令和3年度末までの登録件数】 よしだ防災メール 2,092件（令和2年度比 -137件） 吉田町公式LINE 5,434件（令和3年8月から運用開始） ・吉田町公式LINEの運用開始に伴い、同報無線、よしだ防災メール、吉田町公式LINEを連携させ防災情報の配信を開始した。	防災課
吉田町地域防災指導員養成講座及びジュニア防災士養成講座受講者数（累計）	236人 (平成30年度)	500人	640人	A	○	・「静岡県ふじのくに防災士養成講座」を活用した地域防災指導員養成講座をオンライン方式で開催し、自分の地域は自分で守ることを目指し行動をする「地域防災指導員」の養成を図った。 開催日：令和3年9月7日（火）から11月13日（土）まで 受講者：Aコース…平日コース（計7日間）7人 Bコース…休日主体のコース（計9日間）10人 計17人 ・地域防災指導員養成講座を開催したことにより、地域における防災指導ができる人材を育成することができた。 →吉田町地域防災指導員の新規登録者6人	防災課

【分野(2) 治山治水対策】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
大幡川・大窪川・第2大窪川の改修率	23.2% (令和元年度)	25.7%	23.9%	B		・大窪川において、昨年度に引き続き、上流側へ護岸の改修を進めるため、準用河川大窪川改修工事を実施した。 事業内容：河川土工 1式、ブロック基礎 L=32m、ブロック積 A=108㎡、仮設工 1式 工期：R3.9.15～R4.2.18	建設課
住吉地区浸水対策計画の策定率	0% (令和元年度)	100%	0%	C	○	・静岡県、牧之原市、島田市、吉田町、大井川土地改良区から組織する榛南地域流域治水協議会・幹事会・担当者会議への参画。 ・榛南地域流域治水協議会・幹事会・担当者会議を重ね住吉地区浸水対策計画である坂口谷川水災害対策プランの策定の進捗を図ることができた。	建設課

【分野(3) 交通安全対策】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
交通人身事故発生件数	191件/年 (平成30年度)	150件/年以下	123件/年	A		<ul style="list-style-type: none"> ・4月6日～4月15日に春の全国交通安全運動を実施。※運動初日広報・街頭指導(町内主要交差点) ・7月1日～7月10日に夏の交通安全県民運動を実施。※運動初日広報・街頭指導(町内主要交差点) ・9月21日～9月30日に秋の全国交通安全運動を実施。※運動初日広報・街頭指導(町内主要交差点) ・12月15日～12月31日に年末の交通安全県民運動を実施。※運動初日広報・街頭指導(町内主要交差点) ・毎月10日・20日・30日の「交通事故ゼロの日」に、交通指導車による広報を実施した。 ・カーブミラー修繕の実施。(住吉区4基、川尻区2基、片岡区3基) ・カーブミラー設置の実施。(川尻区2基) ・自転車免許教室の開催。 →住吉小4年生89人(6月15日)、自彊小4年生67人(6月22日)、中央小4年生108人(10月1日)	防災課

【分野(4) 暮らし安全】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
青色防犯パトロール実施団体数	2団体 (平成30年度)	10団体以上	2団体	C		<ul style="list-style-type: none"> ・防犯広報誌「セーフティよしだ」を毎月発行し、防犯活動への周知を図った。 ・町内4か所の駐輪場の防犯カメラの運用を引き続き行い、防犯体制を維持した。(庁舎南側駐輪場・中央公民館駐輪場・総合体育館駐輪場・片岡会館駐輪場) 	防災課
刑法犯認知件数	121件/年 (平成30年度)	120件/年以下	70件/年	A		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会防犯活動である自転車無施錠調査の支援を行った。 ・年間88回の青色防犯パトロールを実施した。 ・同報無線、町ホームページ等により行方不明者及び振込詐欺に関する情報提供を行った。 	防災課

【分野(5) 消防・救急】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
消防団協力事業所表示制度登録事業所数	13事業所 (平成30年度)	20事業所	11事業所	C	○	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団と連携し、消防団協力事業所への登録を呼びかけた。 ・県と連携し商工会等に消防団協力事業所制度の周知を図った。 ・更新対象の8事業所が引き続き更新をした。 	防災課
女性消防団員数	4人 (平成30年度)	10人	4人	C	○	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会長会議に出向き、消防団員の勧誘を依頼した中で、女性消防団員の活動についてもPRし、女性消防団員の重要性や必要性を説明し理解を求めた。 ・広報誌に団員募集記事を掲載し新入団員を募った。 	防災課
救急車両の平均現場到着時間	8分20秒 (平成30年)	7分以内	8分51秒	C		<ul style="list-style-type: none"> ・現場活動の充実・強化及び従前の管轄区域を越えた支援を受ける事ができたが、救急車両及び火災車両の平均現場到着時間の短縮に至らなかった。 ≪吉田町における広域化の効果の主な事例≫(R3年4月1日～R4年3月31日)	防災課
火災車両の平均現場到着時間	9分32秒 (平成30年)	10分以内	11分37秒	C		1. 災害出動について <ol style="list-style-type: none"> (1) 現場への到着時間の短縮…24件 (2) 現場での消防隊等の数を増やすことによる現場活動の充実・強化(初動体制の強化)…64件 (3) 管轄隊の出動等に伴い、他の災害に備えるため他管轄隊の移動配備…13件 (4) その他(従前の管轄区域を越えて柔軟に出動した場合ほか)…132件 	防災課

◆ 第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

【分野(1) 健康づくり】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 の取組内容・実績	担当課
高血圧有病者の割合 (40～74歳)	男性40.7% 女性29.8% (平成29年度)	男性38.3% 女性29.6% (令和3年度)	男性40.7% 女性26.7% (令和元年度)	B		生活習慣病予防など正しい知識の普及や健康診査の結果に基づき、ハイリスク者に対する生活習慣病予防や重症化予防のため個別相談等を実施した。 ・ヘルスアップ教室の開催 内容：管理栄養士による健診結果説明と生活習慣予防のための食生活についての実践的な指導 対象：40歳～74歳の者で、特定健診の結果、血圧、脂質の値が受診勧奨値の者及び血糖値が保健指導判定値の者 実施回数：7回、実施延人数：84人 ・町民健康相談 内容：定例健康相談（月1回） 対象：町民 実施者数：55人 ・体組成計を活用した生活習慣病予防 内容：業務用体組成計による体幹部、両腕、両足の筋肉量、脂肪量の測定、保健師、管理栄養士による相談 実施者数：91人 ・生活習慣病個別相談・健康教育 内容：保健師による家庭訪問、管理栄養士による食事指導 対象：特定健診の結果、受診勧奨判定値のうち、血糖・血圧・脂質等高値者及び腎機能低下が疑われる者 実施者数：178人（延べ188人）	健康 づくり課
妊娠や出産に関する講座実施回数	11回/年 (平成30年度)	11回/年	2回/年	C※	○	・パパママ教室を個別及び集団（オンライン方式）で2回実施した。 ・個別31組、集団8組の夫婦に対し、産後の心身の変化、沐浴動画を通して、夫婦で産後のイメージを持ってもらい、妊娠、出産、子育てに対する知識の普及を行うことができた。	健康 づくり課
7か月児健康相談実施率	97% (平成30年度)	100%	100%	A	○	・7か月児健康相談及び1歳児健康相談を毎月1回（年間12回）実施した。 ・7か月児健康相談：対象者数188人、実施者数188人 ・相談日に来所できない人に対して、個別に相談日を設定することで対象者全員に対して健康相談を行うことができた。 ・健康相談の結果、要観察児や支援が必要な保護者に対して、個別支援を実施することができた。	健康 づくり課

【分野(2) 地域医療】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 の取組内容・実績	担当課
内科診療所数	7箇所 (平成30年度)	7箇所	7箇所	A	○	・吉田町診療所開設補助金を交付したことで、町内における内科診療所数を維持し、もって地域医療体制の確保と安心して居住することができるまちづくりにつなげることができた。	健康 づくり課

【分野(3) 地域福祉】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 の取組内容・実績	担当課
社会福祉協議会におけるボランティア人材登録者数	170人 (平成30年度)	200人	143人	C※		・社会福祉協議会を中心に、町民が日常の中で支え合いやボランティア活動を継続できるよう各種福祉出前講座の実施や福祉体験物品の貸出しを行ったほか、令和3年12月にはボランティア講座を開催した。	福祉課
小中学生が福祉ボランティア活動に参加した人数	34人/年 (平成30年度)	90人/年	0人/年	C※		・例年、夏休みに開催していた盲導犬育成施設の見学、福祉施設体験、サマーショートボランティアは、新型コロナウイルス感染拡大に配慮して中止した。	福祉課
地域福祉推進委員会の開催	0回/年 (令和元年度)	1回/年	1回/年	A		・計画の進捗状況の点検を行い評価するため、関係各課へ評価シートの作成を依頼し点検を行った。 ・令和4年3月17日に地域福祉推進委員会を開催し、計画の進捗状況の評価を行った。	福祉課

【分野(4) 社会保障(国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・生活保護)】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率	39.8% (平成30年度)	60%	34.4% (暫定値)	C※	○	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」が中止となり、特定健診の受診PRは実施できなかったが、代替え実施のWeb版「ふれあい広場」においては、特定健診受診案内のチラシを掲載し、特定健診の受診に対するPRを実施した。 高齢者の通いの場を活用した「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」では、医療費分析による健康課題や特定健診受診の重要性を説明した。 集団健診の実施…18日 がん検診と特定健診の同日実施…5日 個別健診実施医療機関…5医療機関 人間ドックの委託医療機関…8医療機関 	町民課

【分野(5) 子育て支援】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
保育所の待機児童数	0人 (平成30年度)	0人	0人	A	○	<ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員(保育士、保育補助員、給食員等)を62人雇用した。(令和4年3月31日現在)。 人材派遣会社と保育士等の派遣契約を締結し、保育士1人を1月まで確保した。 年度当初及び年度の途中の入所希望者に対し、全員が入所することができた。定員:590人、現員:523人(令和4年3月31日現在。広域入所者を含む。)、入所率:88.64% 短時間勤務保育士の採用や人材派遣会社との契約締結により保育士確保を図り、待機児童「0」を達成することができた。また、保育業務を安定して行うことができた。 	こども未来課
放課後児童クラブの待機児童数	0人 (平成30年度)	0人	0人	A	○	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月1日現在入所者数は、総合計で442人。 利用料について、サービス利用料の軽減を継続して実施している。 長期休業(夏休み)の入所募集を実施し、支援員の確保、人数の調整等を行い、家庭保育が不可能な家庭の児童の受け入れを実施した。 年度当初及び年度途中の入所希望者全員が入所することができ、放課後児童クラブ入所希望者待機児童数については目標値の0人を達成することができた。 夏休み等の長期休暇に支援員の確保、人数の調整等を行い、家庭保育が不可能な家庭の児童の受け入れをし、子どもの居場所を確保することができ、また保護者に対して安心して働ける環境を提供することができた。 	こども未来課
ファミリーサポートセンター会員数	101人 (平成30年度)	150人	135人	B	○	<ul style="list-style-type: none"> 支援センターでの会員の募集及び登録を実施した。 サポート会員への講習会を開催した(11.3月)。 サポート会員3人とリクエスト会員21人を登録することができた。延べ158件の子育て援助活動を実施することができた。 	こども未来課
子育て支援センター利用者数	8,734人/年 (平成30年度)	15,000人/年	7,003人/年	C※	○	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度利用者:延べ7,003人。保健センターや児童館とともに育児中の母親の心身のリフレッシュに取り組んだ。(親子教室、ベビーマッサージ、リトミック教室、親子de体操、ごはんのおはなし、にこにこタイム、散歩、手作り教室、誕生日カードプレゼント等) 利用者が居心地の良い場を作ることを心掛け、興味を持ってもらえるように年齢に合った手作りおもちゃを作り、親子教室や家族で楽しめるイベントを企画した。新型コロナウイルス感染症対策や子育てに関する情報提供を行い、母親同士の知り合えるきっかけ作りをする。また、利用者からの育児不安の相談や電話による相談なども受け付け、話を聞くことで不安感を緩和する。相談内容によっては家庭相談員や関係機関と情報共有を図り、子育て家庭に対する支援ができた。 	こども未来課

【分野(6) 高齢者福祉】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 取組内容・実績	担当課
生涯現役人材バンク登録者数	102人 (平成30年度)	150人	105人	B		<ul style="list-style-type: none"> 豊富な知識、経験、技能等を有する高齢者の募集、登録、ボランティア活動を依頼する町民と登録を受けた高齢者とのマッチング及び調整を実施した。 生活支援コーディネーターが、通いの場等に直接出向き、当該事業について周知を行った。 令和3年度新規登録者数…2人 	福祉課
高齢者見守りネットワーク協力事業所数	46事業所 (平成30年度)	50事業所	47事業所	B		<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な高齢者を、早期に発見し支援ができるよう、広報よしだ等により新規協力事業所を募集し、登録を行った。 令和3年度新規協力事業所数…1事業所 ※既協力事業所間での統合があったことから、登録事業所数の増加なし。 吉田町高齢者見守りネットワーク連絡会を书面開催し、協力事業所47事業所、関係団体11団体及び関係各課へ連絡体制やその手順の周知及び事業報告等を行い、見守り体制の強化を図った。 	福祉課
高齢者向けワンコインサービス利用者数 (累計)	241人 (平成30年度)	1,000人	3,013人	A		<ul style="list-style-type: none"> 吉田町シルバー人材センターに事業を委託し、きめ細かな在宅福祉サービスの提供とともに、元気な高齢者(シルバー会員)が高齢者を支える仕組みづくりと就労促進を図ることができた。 令和3年度延べ利用者数1,437人 	福祉課

【分野(7) 障害者福祉】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 取組内容・実績	担当課
障害福祉サービス及び地域生活支援事業利用者数	379人/年 (平成30年度)	400人/年	457人/年	A		<ul style="list-style-type: none"> 障害者及び障害児が障害福祉サービスを適切に利用できるよう、相談支援部会の開催を通して障害特性を理解し、適切な支給日数によるサービス提供を行った。 福祉サービス受給者証交付者数…326人(障害者…198人、障害児…128人) 	福祉課

◆ 基本理念 2

賑わいが生まれ、活力がみなぎるまちづくり

◆ 第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり

【分野(1) 農業】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 取組内容・実績	担当課
認定農業者及び認定新規就農者数	32経営体 (平成30年度)	37経営体	28経営体	C		<ul style="list-style-type: none"> 農業次世代人材投資資金を交付し、次世代を担う農業者になることを志向する認定新規就農者に対する就農直後の経営の安定を図った。 交付実績：1人(前期750,000円・後期750,000円) 	産業課
荒廃農地面積	15ha (平成30年度)	14ha	15ha	C		<ul style="list-style-type: none"> 部農会への回覧や広報等による周知、農地パトロールの実施、担い手農家及び新規就農者へ農地の貸し借りを推進し、荒廃農地の発生防止や解消につなげた。 農業委員等を通じて制度周知を行い、補助金活用による荒廃農地の解消が図られた。(2人、1,118㎡) 農地の管理依頼(39人、44筆、23,215㎡) 	産業課
認定農業者等への農地集積率	47.3% (平成30年度)	57.0%	60.8%	A		<ul style="list-style-type: none"> 「農地利用集積奨励金」を活用しながら農地集積を積極的に推進し、規模拡大を図る認定農業者等への農地流動化や経営の安定を図った。 交付実績：14人(認定農業者等への補助対象面積50,875㎡) 	産業課

【分野(2) 水産業】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 取組内容・実績	担当課
水産振興拠点の整備	0件 (令和元年度)	1件	0件	C	○	・吉田漁港多目的広場の盛土工事及び護岸工事を実施し、整備の進捗を図った。	産業課
漁業就業相談件数	1件/年 (平成30年度)	5件/年	1件/年	C	○	・シラス加工品への高鮮度な原魚提供等を目的に実施する鮮度保持施設(製氷施設)整備に対して補助金を交付した。 ・実施主体である南駿河湾漁業協同組合において、鮮度保持施設の建築工事が実施され、令和3年度に完成した。 ・漁業就業希望者から1件の漁業就業に関する相談があり、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携し対応した。 ・漁業就業希望者に対し、南駿河湾漁業協同組合と協力して漁業就業に関する情報提供を行った。	産業課
多目的広場の整備	27.6% (平成30年度)	100%	34.4%	B	○	・盛土工事(築堤盛土:10,800 m ³)、植生工事(張芝:3,600 m ²)を実施した。 ・他課で整備を進めている防潮堤と一連の機能を確保するための盛土を実施したことにより、吉田漁港から河川防災ステーションまでの海岸線に一連の海岸堤防が整備され、津波対策(防災機能)を有した海岸堤防が完了した。	産業課

【分野(3) 商工業】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 取組内容・実績	担当課
製造品出荷額	281,989 百万円 (平成29年)	300,000 百万円 (令和3年)	未把握	—		・吉田町商工会へ補助金を交付し、商工会の運営を支援した。 ・商工会が経営指導員、補助員等を中心に行う小規模事業者の経営改善発展のための事業、並びに地域商工業者の総合的な振興発展のための事業を推進することで、町内小規模事業者の経営改善が図られた。	産業課
商品販売額	59,281 百万円 (平成27年)	60,000 百万円 (令和2年)	未把握	—			産業課
新商品開発支援件数(累計)	0件 (平成30年度)	5件	0件	C			産業課

【分野(4) 観光】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 取組内容・実績	担当課
観光交流客数	296,646人/年 (平成30年度)	500,000人/年	168,235人/年	C※	○	・新型コロナウイルス感染症の影響により、小山城まつり、吉田町港まつり・花火大会及び凧揚げまつりが中止となり、令和3年度の観光交流客数に大きな影響を与えた。 ・コロナ禍でも展望台小山城入場者数の増加を図るため、夜桜・展望台小山城ライトアップと併せて展望台小山城の夜間開館を実施し、来場者数の増加に繋がった。 ・小山城売店「しらすのまどぐち」で、マンホールカードの配布を始め、来場者の増加に繋げることができた。(令和3年度配布枚数:1,860枚)	産業課

【分野(5) 新産業】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 取組内容・実績	担当課
創業者数(累計)	29件 (平成30年度)	60件	43件	B	○	・各種情報媒体を通じて、創業支援ネットワークの周知を図った。 ・創業支援ネットワークによって創業実現へのサポート支援を図ることができた。 ・産業振興事業費補助金を交付し、町内の新規創業者に対して支援を行い、産業振興を図ることができた。 新規創業事業:6件(2,469,000円)	産業課
大学等と連携した新商品等の開発(累計)	1件 (平成30年度)	2件	1件	C※	○	・旅行商品開発のため、ファミトリップの実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響によって、実施することができなかった。	産業課

【分野(6) 企業誘致】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組に係る企業活動維持支援事業地内への企業誘致件数(累計)	2件 (令和元年度)	3件	3件	A		・令和3年度において目標の3件を達成済みである。	企画課
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組に係る物資供給拠点確保事業地内への商業施設誘致件数(累計)	4件 (令和元年度)	5件	4件	C	○	・区域内への商業施設の誘致に向け、事業者に対し本事業に係る情報提供等を行った。 ・事業者から問合せや提案が数件あったが、具体的な案件には進展しなかった。	企画課

【分野(7) 雇用・就業対策】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
インターンシップ参加者受入企業の開拓(累計)	32件 (平成30年度)	40件	35件	B	○	・公共職業安定所を通じて求人情報を提供し、就業促進に努めた。 ・町内企業の人材不足解消や企業PR、職場への定着率向上を目的とし、吉田町合同企業説明会を開催した。 開催日：令和4年2月5日(土) 会場：住吉小学校体育館 参加者：16人、参加企業：14社	産業課
インターンシップ参加者数(累計)	78人 (平成30年度)	150人	151人	A	○		産業課
榛南地区勤労者共済会の会員数	933人 (平成30年度)	1,000人	920人	C		・榛南地区勤労者福祉協議会に補助金を交付し、勤労者の教育研修活動や地域福祉活動等を行っている榛南地区勤労者福祉協議会へ支援を行った。 会員数：19社、7,318人(うち吉田町6社、1,359人) ※令和4年3月31日時点 ・榛南地区勤労者共済会に補助金を交付し、小規模勤労者福祉推進事業を実施した。 会員数：530事業所、2,781人(うち吉田町141事業所、920人) ※令和4年3月31日時点	産業課

◆ 第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり

【分野(1) 土地利用】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
ふじのくにフロンティア推進エリアの認定数	0件 (令和元年度)	1件	1件	A	○	・令和3年2月3日に「富士山静岡空港周辺産業・観光交流推進エリア(構成：島田市、牧之原市、吉田町)」として県の認定を受けたことから、各市町が新拠点として位置付けている事業の推進に向け、「ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業計画」の作成に取り組んだ。 ・新拠点の事業を進める際に活用する「ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業費補助金」の要件となる「ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業計画」を作成し、令和4年2月24日に県から認定を受けた。	都市環境課

【分野(2) 住環境】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
空き家バンク制度の利用登録件数(累計)	0件 (平成30年度)	5件	0件	C		・自治会等からの報告により新たに判明した空き家に対しては、状況確認や所有者調査を行った。 ・空き家の所有者に対して、適切な管理を依頼することで空き家に起因する被害は出ていない。また、空き家バンクについては、相談者に対して周知を図ったが、現在のところ登録には至っていない状況である。	都市環境課
町営住宅大規模修繕棟数(累計)	3棟 (令和元年度)	5棟	3棟	C		・吉田町公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存の公営住宅を適切に維持管理するため、破損や老朽化した部分の修繕、退去時のリフォーム及び各設備等の定期的な点検を実施した。 ・町営住宅の大規模修繕については、令和3年度の実績なし。	都市環境課
土地区画整理事業において築造する道路の整備率	89.2% (平成30年度)	100%	89.2%	C		・道路整備に係る地権者との調整が難航しており、令和3年度の実績なし。	都市環境課

【分野(3) 公園・緑地・水辺】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
緑化イベント参加者数	14,000人/年 (平成30年度)	15,000人/年 (4年間平均)	0人/年	C		<ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月29日に開催を予定していた「第29回みどりのオアシスマつり」は、雨天のため、当日のイベントは中止となったが、吉田公園内への記念植樹(シダレザクラ)を実施し、緑化の推進を図ることができた。 みどりのオアシスマつりのイベントの一環として、新築家庭への苗木配布を実施することで、町民の緑化意識を高めることができた。 	都市環境課

【分野(4) 道路網】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
舗装修繕実施率	3.3% (令和元年度)	10.6%	11.8%	A		<ul style="list-style-type: none"> 地域の道路環境及び生活環境改善を図るため、道路の舗装修繕を行った。 大幡川尻2号線舗装修繕工事の実施 事業内容：路面切削 A=1,100 m²、殻運搬・処分 V=133 m³、上層路盤・基層・表層 A=1,100 m²、区画線工 1式、仮設工 1式 工 期：R3.8.30～R4.1.25 下片岡山通り線舗装修繕工事の実施 事業内容：路面切削 A=1,990 m²、殻運搬・処分 V=99 m³、路上再生工 A=1,930 m²、表層 A=1,990 m²、区画線工 1式、仮設工 1式 工 期：R3.8.30～R3.12.10 	建設課
橋梁点検(近接目視)実施率	20% (令和元年度)	100%	68.1%	B		<ul style="list-style-type: none"> 安全面や景観面など快適な道路環境を維持するため、橋梁点検、補修設計及び補修工事を行った。 橋梁点検数・・・74橋(内職員による点検64橋) 橋梁点検実施率・・・68.1%(260橋うち177橋) 愛宕歩道橋外2橋補修設計業務委託の実施 事業内容：橋梁補修設計3橋、塗膜調査5橋 履行期間：R3.8.27～R4.3.25 吉田町内橋梁点検業務委託の実施 事業内容：橋梁点検10橋 履行期間：R3.10.28～R4.3.11 東臨港橋補修工事の実施 事業内容：橋長25.7m、舗装工1式、防護柵工1式、仮設工1式、橋梁付属物工1式、橋梁補修工1式、伸縮装置補修工1式、現場塗装工1式 工 期：R3.10.15～R4.3.25 	建設課

【分野(5) 生活交通】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
町内を運行するバス路線数	4路線 (令和元年度)	4路線	4路線	A	○	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助路線である、島田静波線、藤枝相良線の運行事業者に対して、運行に係る欠損額を関係市町が按分して補助し、路線の維持・継続を図ることができた。 吉田町分：地域間幹線系統確保維持補助金6,312,425円 	企画課
町内バス停の乗降者数	451,672人 (平成30年度)	469,700人	365,345人	C	○	<ul style="list-style-type: none"> 片岡北吉田特別支援学校(相良営業所行き)上屋の設置事業及び吉田町中央公民館駐輪場照明の自動点滅器の修繕に対する補助金を交付し、バスの利用環境を向上させ、通勤、通学及び観光の利便性向上を図ることができた。 しずてつジャストライン株式会社が運行する国庫補助路線(島田静波線及び藤枝相良線)における、バスの乗降調査(OD調査)を実施したことにより、バス停留所ごとの利用者数や客層等の状況を把握することができた。 	企画課

【分野(6) コミュニティ】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 の取組内容・実績	担当課
自治会への加入率	68.4% (平成30年度)	75.0%	65.0%	C		<ul style="list-style-type: none"> 各自治会へ各種補助金等を交付し、地域のコミュニティづくりや自治会及び町内会の円滑な運営を支援することができた。 自治振興費補助金：住吉区(4,847,000円)、川尻区(3,338,000円)、片岡区(3,239,000円)、北区(3,600,000円) 自治会運営費補助金：住吉区(1,593,000円)、川尻区(993,000円)、片岡区(880,000円)、北区(1,176,000円) 指定管理委託料：住吉区(600,000円)、川尻区(100,000円) 北区(150,000円) 地域活性化推進事業補助金：川尻区(600,000円)、片岡区(600,000円)、北区(600,000円) 町内会運営費補助金：住吉区(1,600,000円)、川尻区(800,000円) 片岡区(600,000円)、北区(800,000円) 町内会活動費補助金：住吉区(3,221,000円)、川尻区(1,849,000円)、片岡区(1,576,000円)、北区(2,070,000円) 	総務課
コミュニティカレッジ受講者数(累計)	45人 (令和元年度)	55人	47人	B※		<ul style="list-style-type: none"> 各団体へ受講希望者を募ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は受講希望者がいなかったため、実績なし。 	生涯 学習課

【分野(7) 多文化共生】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 の取組内容・実績	担当課
住民と外国人が交流を図るイベント等の参加者数	396人/年 (平成30年度)	450人/年	0人/年	C※	○	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年国際交流協会が実施しているイベントを中止したが、日本語勉強会については規模を縮小した上で実施することができた。 	企画課
多言語による情報発信回数	12回/年 (平成30年度)	12回/年	12回/年	A		<ul style="list-style-type: none"> 「広報よしだ」の情報を英語、中国語、ポルトガル語に翻訳し、毎月ホームページに掲載することで、外国人が吉田町で生活するために必要な情報提供ができた。 	町民課
外国語版情報誌の配布枚数	4,920枚/年 (平成30年度)	6,000枚/年	4,920枚/年	C		<ul style="list-style-type: none"> 外国語版(英語、中国語、ポルトガル語)情報誌を役場庁舎窓口、保健センター、図書館、中央児童館、はあとふる、榛原総合病院、ハローワーク榛原の7か所に配架することで、外国人が吉田町で生活するために必要な情報提供ができた。 	町民課

【分野(8) 賑わいづくり】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 の取組内容・実績	担当課
無料Wi-Fiスポットの設置数(累計)	2箇所 (平成30年度)	10箇所	8箇所	B	○	<ul style="list-style-type: none"> 小山城前広場駐車場にWi-Fiスポットを設置し、町民の利便性向上を図った。 	産業課
案内看板(多言語化)の設置数(累計)	1箇所 (平成30年度)	10箇所	1箇所	C	○	<ul style="list-style-type: none"> シーガーデンの完成に合わせて実施を予定しており、訪日観光客等にとってわかりやすい多言語看板の形態を検討した。 	産業課
ホームページアクセス件数	163,463件/年 (平成30年度)	200,000件/年	236,659件/年	A		<ul style="list-style-type: none"> 住民のニーズに沿った情報提供を迅速かつ適切に行うため、ホームページサーバーの稼働監視、データのバックアップ、24時間体制のウイルス対策及びシステムのバージョンアップ等を実施し、適正にホームページを運用することができた。また、新型コロナウイルス対策や行政情報、各課からのお知らせやイベント等のページを活用した積極的な情報発信を行うことができた。 令和3年度のホームページアクセス数は239,659件であり、町の情報発信ツールとして有効に活用された。 	企画課

◆ 基本理念 3

豊かな心を育み、愛する郷土を守り、次代につなげるまちづくり

◆ 第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

【分野(1) 幼児教育】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 の取組内容・実績	担当課
幼児教育カリキュラムに基づく幼児教育の実施率	100% (令和元年度)	100%	100%	A	○	・幼児教育カリキュラムとスタートカリキュラムに基づく教育の実践を行うとともに、幼児教育カリキュラム実施委員会を通じて、幼稚園、保育園と小学校との交流・連携を図った。 ・「吉田町幼児教育カリキュラム」に基づく教育の実践を行うことで、町内の幼児が、幼・保・小連携教育を受講することができた。また「教師・保育士用指導書」に基づく実践を行うことで、カリキュラムに沿った指導方法の浸透を図ることができた。	学校教育課

【分野(2) 学校教育】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 の取組内容・実績	担当課
全国学力・学習状況調査の県平均正答率との差	—	令和2年度に小・中学校ともに全科目県平均正答率以上を達成し、以後継続させる	小学校 1/2科目 中学校 0/2科目	C	○	・授業準備時間、研修時間等の確保を目的に授業日の平準化を図った。 ・TCP Triwins Planの「教職員が授業に専念できる環境づくり」の一つとして、夏季休暇及び冬季休暇期間中に学校閉庁日を設定した。 ・TCP Triwins Planの「保護者（家庭）の教育ニーズに応じた環境づくり」の一つとして、スクールソーシャルワーカーを配置した。 ・学校閉庁日を設定したことにより、教職員の休暇取得の促進と自己研鑽の時間を確保することができた。 ・小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置することにより、児童生徒の問題に対し保護者や教職員と協力しながら問題解決を図ることができた。 ・全国学力・学習状況調査の当町と県との平均正答率を比較すると、小学校は2教科2科目のうち国語が全国平均を上回り、算数は下回った。中学校は2教科2科目のうち2科目ともに全国平均を下回った。	学校教育課
各小中学校における学習者用コンピューター1台当たりの児童・生徒数	14.9人/台 (令和元年度)	1.0人/台	1.0人/台	A	○	・令和2年度達成済のため、令和3年度の事業実績なし。	学校教育課
朝食を毎日食べる児童・生徒の割合	児童 94.8% 生徒 95.7% (平成30年度)	児童 100% 生徒 100%	児童 96.7% 生徒 95.4%	B		・令和3年度に実施された全国学力・学習状況調査の「毎日朝食を食べていますか」という設問に対し、児童生徒の朝食を食べている状況を把握し、児童生徒が健康で快適に学校生活を送ることができるように努めた	学校教育課

【分野(3) 地域教育】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 の取組内容・実績	担当課
地域教育推進事業への参加者数	102人/年 (令和元年度)	120人/年	83人/年	C		・町内小中学校で家庭教育学級を実施した。 ・各地区の地域推進協議会に地域教育推進事業補助金を交付した。 ・町内小学校で平日4時間授業日対応した放課後子ども教室を実施した。	生涯学習課
チャレンジ教室の教室数	27教室 (令和元年度)	30教室	18教室	C※		・町内小学生を対象としたチャレンジ教室を実施し、町内の小学生が興味のある教室に申込み、様々な体験活動を体験することができた。 教室数…18教室 内容…茶道、将棋、サッカー、キックボクシング等 受講者数…のべ144人 ・チャレンジ!サマーステイは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	生涯学習課

【分野(4) 青少年健全育成】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
笑顔いっぱい運動スタッフベスト配布枚数 (累計)	1,301枚 (平成30年度)	1,500枚	1,451枚	B		・吉田町笑顔いっぱい運動を実施し、賛同者には「黄色のベスト」を貸与することで、それを着用しながら登下校の見守りや声掛けを行っていただいた。この活動は人づくり、地域づくりの大きな力となったほか、「地域の青少年は地域で育てる」ことを推進し、青少年の健やかな成長を支援することができた。 期間：令和3年4月～令和4年3月 新規賛同者数：28人	生涯 学習課

【分野(5) 芸術文化・文化財】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
芸能祭出演者数	450人/年 (令和元年度)	700人/年	0人/年	C※		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、芸能祭及び文化展は中止とした。 小山城お花見茶会は、雨天のため中止とした。 日本の伝統芸能の落語及び教育演劇を鑑賞することで、子どもたちに豊かな情操の育成と芸術文化愛好の醸成を図ることができた。 【落語】 開催日：令和3年6月17日(木) 対象：住吉小学校全学年児童 場所：住吉小学校体育館 講師：桂 米多朗 【くちぶえ番長】 開催日：令和3年6月14日(月)・15日(火) 対象：中央小学校全学年児童 場所：中央小学校体育館 公演団体：劇団たんぼぼ	生涯 学習課
文化展出展者数	1,529人/年 (令和元年度)	2,000人/年	0人/年	C※			生涯 学習課
芸能祭、文化展等入場者数	2,703人/年 (令和元年度)	4,000人/年	0人/年	C※			生涯 学習課

【分野(6) 生涯学習】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
生涯学習教室参加人数	885人/年 (平成30年度)	900人/年	758人/年	C		・生涯学習教室を実施し、様々な種類の学習機会が選択でき、住民の学習活動の促進を図ることができた。 目的：町民の自発的な学習機会の提供と学習意欲の促進を図る。 講座数：前期・通年62講座・後期52講座 講座内容：パソコン、童謡、骨盤体操、生け花、書道、スマイル体操 ほか 受講者数：758人	生涯 学習課
シニアカレッジ・寿大学受講者数	109人/年 (令和元年度)	120人/年	52人/年	C※		・大学の先生や様々な専門家等を講師とするシニアカレッジを実施し、受講生が様々な講義を受けることにより、知識の習得を図ることができた。 目的：新たな知識の習得、仲間づくり、社会活動、シニア世代がいきいきと充実した生活を送ることができる学習機会の提供を図る。 講座数：56講座	生涯 学習課
図書館来館者数	115,876人/年 (平成30年度)	130,000人/年	82,446人/年	C※		<ul style="list-style-type: none"> 住民のニーズに応えるため、各分野のバランスに考慮した蔵書構成を行い、予約件数が約1.2倍に増加した。コレクションとしては地域資料を充実させることができた。 除籍を行ったことで、適切な資料整理と書架スペースの拡充により利用しやすい環境づくりを行うことができた。 地域の実情に応じた図書館運営を行うため、図書館協議会を開催し、図書館の運営状況を周知するとともにウィズコロナの図書館運営について委員から貴重な提言を受けることができた。 コロナ禍における感染対策を講じた図書館定期行事の実施により、来館者数の増加につなげた。 おはなし会：乳児 毎月第1第3水曜 10時30分～11時00分 幼児 毎月第1第3日曜 11時00分～11時30分 映画会：13回(月1、2回実施)、 雑誌リサイクル：4回(奇数月に実施) 古本市：1回(3日間実施)	生涯 学習課

【分野(7) スポーツ・レクリエーション】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
各種大会、スポーツ教室等への参加人数	1,911人/年 (平成30年度)	2,800人/年	424人/年	C※		<ul style="list-style-type: none"> ・町民のスポーツ実施率向上に向けた今後の具体的な取組についてスポーツ推進委員と協議を深めるとともに、コロナ禍での教室や大会の安全な開催方法を検討し実施につなげた。 ・誰もが取り組みやすい種目を体験教室として継続的に選定することで、幅広い年齢層の方が参加され、参加者からの紹介もあり、新規参加者（特に親子）が目立った。 ・コロナ禍における各種大会の開催に当たり、各競技別のガイドラインに準じて開催したことで、参加者が安心して参加することができ、町民の交流と健康増進が図られた。 ・ソフトランニング教室では、年齢や体力に応じて誰もが楽しく気軽に参加できるトレーニングを行い、よしポケNEWSや吉田町公式LINEにて周知を図ったことにより、親子での参加が促進され幅広い年齢層からの参加を得ることができた。 ・体育協会及びスポーツ少年団へ補助金を交付し有意義に活用することにより、各団体ともに活発に活動ができ、町のスポーツ振興並びに競技力向上につながった。 ・例年なごなた合同研修会を年2回開催していただいたが、中学部活動への新入部員が入らなかったことを受け、新たな競技人口を増やすため、体験会を開催した。 ・市町対抗駅伝競走大会への出場に向けた練習会を週1回実施したことで、小学生から一般選手までの競技力向上につながり、吉田町チームの力が底上げされ、悲願の町の部での初優勝ができた。 	生涯 学習課

◆ 第6章 豊かな自然と共生するまちづくり

【分野(1) 上水道】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
基幹管路の耐震化延長	3,061m (平成30年度)	4,941m	5,019m	A		<ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路である送水管や主要な配水管を耐震管に布設替えることで、大規模自然災害に備えることができた。 基幹管路耐震化…送水管211m施工、配水管21m施工 老朽管布設替…513m施工 	上下 水道課
有収率	87.5% (平成30年度)	90%	88.8%	B		<ul style="list-style-type: none"> ・漏水調査を約151km行い、漏水の早期発見に努めた。 ・浄水場・配水池等の施設の維持管理、原水・浄水の水質検査、配水管の漏水修繕等を行い、水道利用者へ安全な水の安定供給をすることで、有収率の向上を図ることができた。 	上下 水道課

【分野(2) 下水道・浄化槽・し尿処理】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
下水道処理人口普及率	37.7% (平成30年度)	42%	38.4%	B		<ul style="list-style-type: none"> ・未普及解消のための新たな管渠を1,340m布設し、供用開始面積を3.97ha拡大したことで、新たに下水道を利用できる世帯を17戸増やすことができた。 	上下 水道課
浄化槽処理人口普及率	39.1% (平成30年度)	42%	43.3%	A		<ul style="list-style-type: none"> ・単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換における宅内配管費用及び浄化槽撤去費を新たな補助対象とし、前年度比で補助交付基数が増加し、生活排水による公共用水域の水質汚濁防止に寄与することができた。 【補助金交付実績】 5人槽：53基（24,251,000円）、7人槽：9基（6,846,000円）、10人槽：2基（1,486,000円） 	上下 水道課

【分野 (3) 環境衛生】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
飼い主のいない猫不妊去勢手術実施件数 (累計)	989件 (平成30年度)	1,500件	1,447件	B		<ul style="list-style-type: none"> ・(公社)静岡県獣医師会所属の獣医師や中部保健所と連携して飼い犬や飼い猫の適切な飼養指導を行い、畜犬台帳を適切に管理することができた。 ・飼い主のいない猫の不妊去勢等手術を行うことで、繁殖を制限し、公共の場所で発生する死亡件数が減少した。 ・飼い主のいない猫不妊・去勢等手術事業費補助金実績：128件(雄：去勢手術67件/雌：不妊手術61件) 	都市 環境課
環境学習参加者数(累計)	126人 (平成30年度)	200人	186人	B		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を対象に、身近な環境問題に対する理解を深めるための学習講座を生涯学習課主催のシニアカレッジと共催で開催し、環境問題に関する意識向上を図ることができた。 【第1回】日時：令和3年12月8日(水) 場所：中央公民館 参加人数：シニアカレッジ受講者(21人) 内容：地球温暖化と新エネルギー 講師：ちいさな理科館 館長 中山隆雄氏 【第2回】日時：令和3年12月22日(水) 場所：中央公民館 参加人数：シニアカレッジ受講者(22人) 内容：近年の気候変動について 講師：静岡県環境衛生科学研究所 主査 岡田裕史氏 	都市 環境課

【分野 (4) ごみ減量・リサイクル】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
1人1日当たりの可燃ごみの排出量	743.2g (平成30年度)	603.81g	令和5年3月 確定	—		<ul style="list-style-type: none"> ・町民に対して、ごみの分別方法等の周知及び説明資料として「吉田町ごみ分別ガイドブック」を作成し、全戸配布を行った。ごみの分別方法やSDGsに関すること、適切な分別、ごみの減量やリサイクルについて掲載し、ごみ減量やリサイクルへの意識を高めることができた。 	都市 環境課
ごみのリサイクル率	19.9% (平成30年度)	26.0%	令和5年3月 確定	—		<ul style="list-style-type: none"> ・町内で発生した剪定枝や刈草の再利用促進、家庭での生ごみの減量化を図ることで、環境に対する意識を高めることができた。 	都市 環境課

【分野 (5) 地球温暖化防止対策】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
吉田町住宅用新エネルギー機器等設置事業 費補助件数(累計) (太陽光発電システム)	417件 (平成30年度)	500件	436件	B		<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の少ないクリーンエネルギーを利用する住宅用新エネルギー機器等の設置を推進し、二酸化炭素排出量の削減に努めた。 ・補助金交付要綱を見直し、環境負荷の少ないクリーンエネルギーを利用する住宅用新エネルギー機器等の設置を推進した。 ・広報を通じ、地球温暖化防止に対する啓発や既存住宅に住宅用の新エネルギー機器等を設置しようとする町民に対して補助金制度の周知を図った。 	都市 環境課
吉田町住宅用新エネルギー機器等設置事業 費補助件数(累計) (蓄電池システム)	42件 (平成30年度)	100件	59件	B			都市 環境課
公共施設における温室効果ガス年間排出量	2,644 t-CO2 (平成30年度)	2,600 t-CO2	令和5年3月 確定	—			都市 環境課

◆ 第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり

【分野(1) 行財政】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
吉田町まちづくりステップアップ行政評価による点検実施率	100% (平成30年度)	100%	100%	A		<ul style="list-style-type: none"> 総合計画と予算の体系化を図ることにより、行政評価の基礎情報の整理及び目的と手段の関係を明確化することができたほか、職員へ総合計画について意識付けができ有効であった。 PDC Aサイクルの考え方を取り入れた「吉田町まちづくりステップアップ行政評価」の運用により、実績の把握、事業の評価を一連の流れの中で行い、評価結果に基づく実施計画の内容を基礎資料とし、令和4年度の当初予算編成につなげることができた。 吉田町行財政構造改革推進本部会議を4回開催し、第5次吉田町総合計画前期基本計画進捗管理報告書、第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書、令和3年度行政評価結果報告書及び令和3年度実施計画書(令和4年度～令和6年度)について審議を行った。 	企画課
実質公債費比率	11.5% (平成30年度)	18%未満を維持	10.6%	A		<ul style="list-style-type: none"> 適正な予算編成を行い、計画的かつ効率的な予算執行ができた。 財政指標の作成及び分析を行い、現在の財政状況の把握ができた。 財政状況の公表を円滑に行うことができた。 	財政管理課

【分野(2) 高度情報化】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
行政手続きなどに係るオンライン利用件数	24,503件/年 (平成30年度)	31,271件/年	31,589件/年	A		<ul style="list-style-type: none"> パソコン及び総合行政情報システム等を借り上げ、適正な配備を行ったことにより、事務処理及び行政サービスの効率化を図ることができた。 ウイルス駆除対策を実施したことにより、外部への情報漏えいやデータの改ざんがなく、情報資産を保護することができた。 情報通信研究機構・総務省主催のCYDER研修に参加したことにより、情報セキュリティ対策及びインシデント対応についての知識を得ることができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種行事等の中止が続く中、保育園等での園児の様子を伝える資料の作成や、職員間の適切な情報共有ができる環境を整備するため、町内全ての保育園にノートパソコンを配備し、情報共有や記録等の作成をより効率的に行える環境を整えることができた。 	総務課
電子申請サービス数	7種類 (平成30年度)	10種類	7種類	C			総務課
情報セキュリティ問題発生件数	0件/年 (平成30年度)	0件/年	0件/年	A			総務課

【分野(3) 情報公開】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度の取組内容・実績	担当課
個人情報の流出・紛失事故件数	0件/年 (平成30年度)	0件/年	0件/年	A		<ul style="list-style-type: none"> 吉田町の情報公開制度及び個人情報保護制度を適正に運用したことにより、個人情報を流出や紛失した事故もなく、適正に公文書等の取扱いができた。 	総務課
情報セキュリティに関する研修を受けた人数(累計)	92人 (平成30年度)	250人	263人	A		<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティに関する研修を開催し、個人情報を流出や紛失した事故もなく、適正に公文書等の取扱いができた。 【新人職員に向けた吉田町セキュリティ研修】 日時：令和3年3月11日、6月28日 参加者：10人 【サイバー攻撃に対するインシデントレスポンス能力向上を目的とした研修】 日時：令和3年11月17日、令和4年3月4日 参加者：2人 	総務課

【分野(4) 広報・広聴】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 取組内容・実績	担当課
ホームページアクセス件数	163,463件/年 (平成30年度)	200,000件/年	236,659件/年	A		<ul style="list-style-type: none"> 住民のニーズに沿った情報提供を迅速かつ適切に行うため、ホームページサーバーの稼働監視、データのバックアップ、24時間体制のウイルス対策及びシステムのバージョンアップ等を実施し、適正にホームページを運用することができた。また、新型コロナウイルス対策や行政情報、各課からのお知らせやイベント等のページを活用した積極的な情報発信を行うことができた。 令和3年度のホームページアクセス数は239,659件であり、町の情報発信ツールとして有効に活用された。 	企画課
町政報告会参加者数	102人/年 (平成30年度)	300人/年	—	—※		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により町政報告会を開催できなかったが、報告資料をホームページに掲載したことにより、町の施策を町民に周知することができた。 	総務課

【分野(5) 住民参画】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 取組内容・実績	担当課
NPO法人の数	3団体 (平成30年度)	5団体	3団体	C		<ul style="list-style-type: none"> 県や他市町と意見交換をしたことで、NPO法人などの住民参画推進事業について課題を共有することができた。 	企画課
NPO法人の会員数	63人 (平成30年度)	100人	59人	C			企画課

【分野(6) 男女共同参画・人権尊重】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 取組内容・実績	担当課
静岡県「男女共同参画社会づくり宣言」事業所・団体数	20件 (平成30年度)	25件	20件	C	○	<ul style="list-style-type: none"> 町内事業所を対象にワーク・ライフ・バランスの普及促進や「男女共同参画社会づくり宣言」の登録の啓発を行った。 令和4年3月8日(火)、町内事業所を対象に企業セミナーをオンラインで開催した。 講師：犬塚協太教授 演題：「実現しよう！～誰もが働きやすい職場×ワーク・ライフ・バランス」 	企画課
人権啓発講演会参加者数(累計)	505人 (令和元年度)	1,150人	610人	B		<ul style="list-style-type: none"> 人権教育講演会(人権を守る会との合同開催)を福祉課と合同で開催し、町内各委員の職にある参加者の人権意識の向上を図ることができた。 開催日：令和3年8月4日(水) 内容：インターネットと人権 講師：NPO法人奈良地域の学び推進機構 理事 石川千明 氏 参加者：35人 	生涯 学習課

【分野(7) ユニバーサルデザイン】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和3年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和3年度 取組内容・実績	担当課
公共施設におけるユニバーサルデザイン化実施箇所数(累計)	4箇所 (平成30年度)	8箇所	14箇所	A		<ul style="list-style-type: none"> 町の業務におけるユニバーサルデザインの取組を調査し、各課の取組状況を把握することができた。 「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業」を活用し、中央小学校正面玄関及び昇降口におけるスロープ設置、吉田町立図書館及び小山城売店におけるトイレのユニバーサルデザイン化、住吉会館における照明のLED化をすることで、住民の施設利用における快適性の向上に資することができた。 町広報誌にユニバーサルデザインに係る記事を掲載することで、住民意識を向上することができた。 	企画課